



## 2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月12日

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3474 URL https://g-fac.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)片平 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)田口 由香子 (TEL)03(5325)6868  
 四半期報告書提出予定日 2022年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	1,035	21.2	14	—	23	—	68	—
2021年12月期第1四半期	854	△15.9	△25	—	△25	—	△66	—

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 102百万円 ( —%) 2021年12月期第1四半期 △45百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	10.52	10.48
2021年12月期第1四半期	△10.22	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、2021年12月期第1四半期は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	4,629	1,643	35.3
2021年12月期	4,672	1,541	32.8

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 1,633百万円 2021年12月期 1,532百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,344	19.3	92	—	91	—	46	△84.3	7.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年12月期1Q	6,776,500株	2021年12月期	6,776,500株
2022年12月期1Q	300,000株	2021年12月期	300,000株
2022年12月期1Q	6,476,500株	2021年12月期1Q	6,468,822株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスワクチン接種が進み、経済活動の回復の兆しが見え始めたものの感染再拡大の懸念もあることや、ウクライナ情勢の緊迫化・長期化、資源価格や物流コストの上昇、円安の進行なども懸念されていることから、社会全体が依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の収束が見えず、政府・自治体によるまん延防止等重点措置によって、飲食店舗の休業及び営業時間短縮要請や酒類提供自粛要請が断続的に続くことで、来店客数の落ち込みが戻らないなど、全体として売上高が減少し、先行きの見通せない厳しい状況が続きました。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、新型コロナウイルス感染症が収束したのち、日本国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となれるよう努めてまいりました。また、経営サポート事業と飲食事業の連動によって、当社独自の「プラットフォーム」を形成し、両事業を併せ持つことによるシナジー効果で収益を創出するビジネスモデルを確立し、各事業で収益が発生する「名代 宇奈とと」のライセンス展開や、飲食事業で培ったノウハウや課題解決力を活かし、時代と共に変化する飲食店経営のニーズに対応した新サービスの提供を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,035,986千円（前年同四半期比21.2%増）、営業利益は14,975千円（前年同四半期は営業損失25,385千円）、経常利益は23,889千円（前年同四半期は経常損失25,614千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68,164千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失66,088千円）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

セグメントの経営成績の状況は次のとおりであります。

#### ① 経営サポート事業

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスのまん延により続いていた飲食店出店の停滞に改善が見られ、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた飲食事業者による出店が加速し、新規契約数を伸ばすことができました。また、「名代 宇奈とと」のライセンス加盟店数は前期に引き続き増加傾向であり、ライセンス収入の増加が増益に貢献しました。

その結果、当セグメントの売上高は548,142千円（前年同四半期比10.7%増）、営業利益は70,315千円（同10.7%増）となりました。

#### ② 飲食事業

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが展開する「名代 宇奈とと」においては、政府・自治体の要請を受けて、営業時間の短縮及び酒類提供自粛等の対応をとったことで来店客数は低い水準で推移しました。一方で、コロナ禍に対応したデリバリー・テイクアウトへの対応が寄与し、売上高を下支えしている状況です。また「名代 宇奈とと」のライセンス加盟店数の増加に伴い、ロイヤリティ収入及び食材卸売高が増加しました。さらに、ベトナムにおいて「名代 宇奈とと」2号店が2021年12月にオープンしたことから、売上高の増加に寄与しています。

株式会社M. I. Tにおいても、政府・自治体の要請を受けて、営業時間の短縮及び酒類提供自粛等の対応をとりましたが、職人形態であり高付加価値の業態がお客様の支持を得て徐々に来店客数や客単価が戻ってきております。

その結果、当セグメントの売上高は、487,844千円（前年同四半期比35.7%増）、営業利益は26,015千円（前年同四半期は営業損失13,934千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間の資産は前連結会計年度末より42,144千円減少して4,629,973千円となりました。これは主に、建物及び構築物が111,315千円増加した一方で、現金及び預金が35,578千円、有形固定資産その他が121,981千円減少したことによるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間の負債は前連結会計年度末より144,958千円減少して2,986,004千円となりました。これは主に、長期預り保証金が28,026千円増加した一方で、未払法人税等が21,957千円、流動負債その他が96,561千円、長期借入金が77,114千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より102,814千円増加して1,643,968千円となりました。これは主に、利益剰余金が68,221千円、為替換算調整勘定が33,470千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年2月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,240,135	2,204,556
売掛金	90,446	87,736
割賦売掛金	12,054	10,403
リース投資資産	149,486	133,299
商品	27,519	27,150
その他	225,419	235,500
貸倒引当金	△7,055	△5,881
流動資産合計	2,738,007	2,692,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	566,313	677,628
その他(純額)	182,435	60,453
有形固定資産合計	748,748	738,082
無形固定資産		
のれん	121,680	108,160
その他	2,247	12,510
無形固定資産合計	123,928	120,671
投資その他の資産		
差入保証金	901,299	910,958
その他	174,426	181,788
貸倒引当金	△14,292	△14,292
投資その他の資産合計	1,061,433	1,078,453
固定資産合計	1,934,110	1,937,207
資産合計	4,672,117	4,629,973

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	104,843	94,587
1年内返済予定の長期借入金	229,576	246,751
未払法人税等	160,485	138,528
賞与引当金	—	9,246
その他	543,041	446,480
流動負債合計	1,037,947	935,593
固定負債		
長期借入金	1,289,428	1,212,314
長期預り保証金	658,851	686,878
その他	144,736	151,219
固定負債合計	2,093,016	2,050,411
負債合計	3,130,963	2,986,004
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	391,227	391,227
資本剰余金	288,595	288,595
利益剰余金	1,092,510	1,160,731
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	1,528,399	1,596,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58	17
為替換算調整勘定	3,772	37,242
その他の包括利益累計額合計	3,831	37,260
非支配株主持分	8,923	10,086
純資産合計	1,541,154	1,643,968
負債純資産合計	4,672,117	4,629,973

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)
売上高	854,866	1,035,986
売上原価	495,665	569,230
売上総利益	359,201	466,756
販売費及び一般管理費	384,586	451,780
営業利益又は営業損失(△)	△25,385	14,975
営業外収益		
受取利息	271	33
為替差益	1,122	10,530
その他	536	703
営業外収益合計	1,930	11,268
営業外費用		
支払利息	2,149	2,195
その他	10	158
営業外費用合計	2,159	2,353
経常利益又は経常損失(△)	△25,614	23,889
特別利益		
固定資産売却益	1,090	—
違約金収入	—	50,406
受取和解金	6,547	18,605
臨時休業等助成金収入	19,615	57,070
特別利益合計	27,252	126,082
特別損失		
固定資産売却損	—	30,177
和解金	—	16,000
臨時休業等関連損失	51,818	23,637
特別損失合計	51,818	69,814
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△50,179	80,157
法人税、住民税及び事業税	22,844	16,299
法人税等調整額	△4,962	△4,992
法人税等合計	17,882	11,306
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,062	68,850
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,974	685
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△66,088	68,164



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△68,062	68,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	△41
為替換算調整勘定	22,513	33,948
その他の包括利益合計	22,567	33,907
四半期包括利益	△45,494	102,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△51,702	101,594
非支配株主に係る四半期包括利益	6,208	1,163

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。